

モーリン・アンド・マイク・マンズフィールド財団ニュースレター

2021年11月30日

第25期マンズフィールドフェロー近況報告

第25期マンズフィールドフェロー、パナソニックセンター東京を訪問

11月4日、第25期マンズフィールドフェローは、東京都江東区有明にある[パナソニックセンター東京](#)を訪問した。パナソニック株式会社の国際渉外部部長であり、マンズフィールド財団の理事でもある[中村正人氏](#)とパナソニックセンター東京所長の池之内章氏にパナソニック株式会社及びパナソニックセンター東京の概要説明を受けた後、センター内のビジネスソリューションズ・フロア、オリンピック・パラリンピック及びSDGs等関連の展示フロア、また今年4月にオープンした「ひらめき」をカタチにするミュージアム AkeruE(アケルエ)を見学した。フェローは同社による先端技術を駆使した人や暮らしがより豊かになる社会の実現や再生可能エネルギー由来電力への切り替えやクリーンなエネルギーの活用といった企業努力を熱心に聞き、オリンピック・パラリンピックへの貢献、SDGs や STEAM 教育促進など同社の取り組みの展示に興味深く見学した。フェローそれぞれは、エネルギー資源の活用や、教育における科学技術の活用など様々な専門領域を持ち、自分の専門性と照らし合わせて、日本の先端技術を取り入れた社会貢献への取り組みを見聞することで有意義な時間を過ごした。



パナソニックセンター東京で：中村部長(左端)、池之内所長(右端)



熊本大学とマンスフィールド財団の連携講義シリーズ第1回開催

12月1日、[熊本大学](#)と[マンスフィールド財団](#)が学生向けに行っている連携講義シリーズ(全3回)の第1回目がオンラインで行われた。第1回は、第25期マンスフィールドフェローのマーラ・ボークソン(米国財務省内国歳入庁 弁護士(税務担当))が、自己紹介を行った後、自身の専門分野である米国の税制度について学生にもわかるように基礎から説明を行った。動画やクイズなども盛り込み、複雑な内容ながらわかりやすい説明で、学生からも連邦税や州税の違いや州ごとに州税制度が違う理由、所得税や給与税の違いなどについて質問がされ、日本の学生が米国の税制度を通して米国の社会制度を学ぶ機会となった。



25 期マンスフィールドフェロー・マール・ポークソン(上)、熊本大学の学生と教員(左下)



他、フェローの活動報告(写真)

[プログラム詳細](#)

[フェローの研修先受入機関リスト](#)

クレイグ・エリオット

(米国農務省 海外農務局 貿易政策及び地域別担当 アジア太平洋課 貿易政策官)

受入機関: 農林水産省 輸出・国際局(10月)



鹿児島県鹿屋市漁協との会合の後、中西茂市長とともに 鹿児島県鹿屋市のゆるキャラ「かのやカンパチロウ」と!

その他 財団関連ニュース

第 26 期マンスフィールド・フェローシップ・プログラム: フェロー向けウェビナー・シリーズ第 3 回実施

マンスフィールド財団 DC 本部は 11 月 8 日、来年夏に来日予定の第 26 期マンスフィールドフェロー向けウェビナーシリーズの第 3 回会合を実施した。本会では、[日米友好基金](#)(JUSFC)のページ・コッティングハム＝ストーリー専務理事と米国通商代表部(USTR)日本担当代表補代理のデビッド・ボーリング氏が講師を務めた。両

氏はともにマンスフィールド財団の副会長を務めていた経験があるだけでなく、ポーリング氏は第5期のマンスフィールドフェローでもあったことから、二人は日本の行政機関で働くための心構えや実地的な知識をフェローに助言した。

CFM 政策会合:カート・トン元アジア太平洋経済協力(APEC)担当大使を招いて

11月11日、マンスフィールド財団は[コーポレート・フレンズ・オブ・マンスフィールド\(CFM\)](#)のオンライン政策会合を開催した。スピーカーには財団理事の[カート・トン](#)元アジア太平洋経済協力(APEC)担当大使(現在はアジア・グループ共同経営者)を招き、香港の民主的構造に昨今課された制限のビジネスへの影響についてお話しいただいた。トン大使は香港での総領事の経験があり、また米国・アジアの経済関係にご精通していることから、香港の国家安全維持法のような問題が香港における国際ビジネス上の利益や広義での米中関係にどのように影響しているかについて語った。

財団関連記事や報道のご紹介

ジェラルド・カーティス・コロンビア大学名誉教授:笹川平和財団米国の Japan Political Pulse に寄稿

コロンビア大学政治学部名誉教授でマンスフィールド財団理事会会長[ジェラルド・カーティス教授](#)が、[笹川平和財団米国\(Sasakawa USA\)](#)の [Japan Political Pulse](#)(電子媒体)に寄稿。記事については以下を参照ください。

[Mr. Kishida Goes to Washington: The Right Way and the Wrong Way](#) (2021年11月10日)

職員募集のお知らせ

マンスフィールド財団東京事務所 プログラムマネージャー(正規職員)募集中

モーリーン・アンド・マイク・マンスフィールド財団東京事務所では、正規職員(プログラムマネージャー)1名を募集中です。締め切りは、12月15日。詳細はこちらの[募集ページ](#)をご参照ください。また、ご関心をお持ちになられそうな方に募集情報をお伝えいただけましたら幸いです。

今後のイベントのご案内

第1回 GRIPS-マンスフィールド財団合同セミナー(オンライン):12月17日(金)午後12時10分開催

2021年12月17日(金)12:10-13:40に[政策研究大学院大学\(GRIPS\)](#)と[マンスフィールド財団](#)の本年度第1回目の合同セミナーが行われます。第1回は、第25期マンスフィールドフェローのマーラ・ポークソン氏(米国財務省内国歳入庁・税務担当弁護士)が、「[米国税法:米国税法の理解と米国内国歳入法の読み解き方](#)」と題したセミナーでお話します。参加ご希望の方は、下記のURLよりご登録の上、12月15日(水)17:00までにお申込みください。また詳細は[こちら\(PDF\)](#)をご覧ください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_GIAPmX51RlallnPS7LNx4A

第 18 期マンスフィールド・フェロー、横須賀アジア太平洋研究会議(YCAPS)のウェビナーに登壇:12月7日(火)午後8時開催

2021年12月7日(火)20:00-21:00、横須賀アジア太平洋研究会議([YCAPS](#))、テンプル大学現代アジア研究所([ICAS](#))、在日米軍経験者友好プログラム([JUMP](#))の主催で行われるウェビナー「インド太平洋政策対話:岸田文雄首相の下での日本の政治情勢と国内外の政策展望(Indo-Pacific Policy Dialogue: Japan's Political Landscape and Domestic and Foreign Policy Prospects Under PM Kishida Fumio)」のパネルディスカッションに、第18期マンスフィールド・フェロー(2013年-2014年)のマイケル・ポーザック氏(元在日米軍司令部政府関係副課長)に登壇予定です。参加ご希望の方は、下記のURLよりご登録の上、お申込みください。詳細は[こちら](#)(YCAPSのホームページに移動します)。

https://zoom.us/meeting/register/tJlsc-qgrD4iG9S0ZMtYPIVmXx3HgaD14VOj?fbclid=IwAR06Fnfjb_vU0wBpfgFDiCJPoz2WZFCtMu-zxWT2vYpRa7jT9zLSz80Ayk

第 26 期マンスフィールドフェロー紹介(6)

マンスフィールド財団東京事務所では、[マンスフィールド・フェロースhip・プログラム](#)で来年夏に研修開始予定の第26期生について紹介しています。今回は、グレース・パク氏とジェレミー・ポッター氏を紹介します。

グレース・パク 第26期マンスフィールドフェロー(2022-2023年)

米国空軍省 特別捜査局 特別捜査官



米国空軍省特別捜査局(OSI)の特別捜査官として最も素晴らしいことの一つは、様々な意味でありあらゆる立場の人々や部署と関わる機会を持つことです。このポジションに長く就いていればいるほど、最も効果的な解決策を考案するために、部門の枠を超えた対話や協働がいかに不可欠であるかということに気づかされます。

OSIは、その役割や機能が多様であるため、様々な軍関係者や民間パートナーと働く能力と必要性を持ち合わせています。パートナー・エンゲージメント及び協力は、OSIの「空軍、ひいては国防総省や米国政府の多くの領域における脅威を特定、活用、無効にする」というミッションの基盤にもなっています。子どもへの性的搾取の撲滅に対する共同の取り組みから、部隊への脅威や国家安全保障を標的にした敵対的行為者に対抗することまで、国際パートナーの存在は、戦術的、作戦的、戦略的レベルにおける業務を行うために非常に重要です。

現在、私は特別捜査局のインド太平洋地域における地域本部のアクション・オフィサーです。職務上、自由に開かれた地域秩序及び同盟国や自国を効果的に防衛する米国の能力を確保するために、強力な国際パートナーシップが極めて重要であるということを痛感しています。

現在、グローバルな安全保障環境における脅威や不測の事態を効果的に抑止し、備えるために、一連の重点分野や領域にまたがる共同作業が必要であることはますます明らかになってきています。マンسفールドフェローとして、協力と相互運用性を高める分野と革新的な方法を特定するために、日米相互の安全保障上の懸念についての理解を深めることができると願っています。

ジェレミー・ポッター 第26期マンسفールドフェロー(2022-2023年)

米国内務省 海洋エネルギー管理局(BOEM) 太平洋地域環境科学課(ESS) 主任



約24年前の今頃、私はJETプログラム(外国語青年招致事業)に申請するための志望理由書に何を書くべきか迷っていました。というのもその時、どちらかと言うと日本に行くことにあまり関心がなく、友人の一人に申請してみると約束しただけの申請だったからです。まさか合格して実際に行くことになるとは全く想像していませんでした。もし誰かが、私が日本の田舎に3年住んで働くようになり、それがおそらく私の人生形成に重要な時期となるだろうと言っていたとしたら、私は鼻で笑っていたことでしょう。それが、今現在の私の状況は、個人的にも仕事のにも、その時とは大変違ったものとなりました。

初めてマンسفールド・フェローシップ・プログラムについて聞いたのは、連邦政府の職を得てすぐ後のことでした。それ以来、プログラムに申請して、フェローに選ばれたらどんなによいかと願っていましたので、昨冬に合格の通知をいただいた時、私と家族は狂喜しました。

専門的には、26期フェローの同僚と日本のカウンターパートの同僚と日本文化の中で、日本語で1年を過ごすべき理由は複数あります。深海鉱物は、私の所属機関や米国全体にとって新たな課題となりつつあります。日本は、深海鉱物を国の基本的な金属需要を供給するための重要な資源と見なしている点で、米国のはるかに先をいっています。またエネルギーの面では、日本は洋上風力発電セクターの世界的リーダーであり、国の研究開発努力は洋上風力発電技術の主要な推進力となっています。そしてこれらは、私の所属機関である海洋エネルギー管理局(BOEM)で活発に議論されているプログラムのうちの二つにあたります。洋上風力と重要鉱物に係るBOEMの太平洋地域の管理活動に取り組むにあたって、一年間、日本の同僚と一緒に仕事をし、彼らから学ぶことで、私自身の能力は大幅に向上するでしょう。

BOEMで、私は太平洋地域環境科学課(ESS)の主任をしています。ESSの職員は、オフショアエネルギーと鉱物開発の環境への潜在的な影響をよりよく理解するため、環境研究の優先順位付け・設計・管理を行います。BOEMは、これらの調査からの情報を利用して、開発に関する管理上の決定を通知します。BOEMに入局前は、商務省の米国海洋大気庁(NOAA)で10年以上勤務しました。私のNOAAでのキャリアの大半は、大西洋、メキシコ湾、北極圏、中西太平洋での作業を含む主要な深海科学探検隊を組織することでした。

今日まで、私の所属機関と日本のカウンターパートの機関との間に実質的な対話はありませんでした。有意義な二国間対話と理解を促進することは一朝一夕に起こらないとはわかっています。私はBOEM出身の最初の

マンスフィールドフェローであり、内務省からは、現在派遣中である第 25 期フェローのフィリシナ・ビンソンに次いで 2 番目です。私たちの研修が、有意義かつ長期的で相互に有益な関係になるための始まりとなることを願っています。

■このニュースレターは、関連団体、実施事業関係者のほか、以下の方々にお送りしています。

- ・当財団スタッフとの面談、取材、名刺交換、メール通信等により個人情報をご提供いただいた方
- ・当財団主催/後援のセミナー、講演会等にご参加いただいた方

■皆様からいただきました個人情報は当財団の主催または後援によるセミナー等のご案内の送付に使わせていただきます。

■ニュースレターの新規登録・配信停止または登録内容の変更は、お手数ですが以下のメールまでお知らせください。

tokyoinfo@mansfieldfdn.org

Maureen and Mike Mansfield Foundation Monthly Newsletter

November 30, 2021

Mansfield Fellowship 25th Class Update

MFP25 Fellows Visit Panasonic Center Tokyo

On November 4, the 25th Mansfield Fellows visited the [Panasonic Center Tokyo](#) in Ariake, Koto-ku, Tokyo. The Fellows received a briefing about Panasonic Corporation from Mansfield Foundation Board Member [Masato Nakamura](#), Director of the International Relations Department in the Government and External Relations Division at Panasonic Corporation. They also learned about Panasonic Center Tokyo from Mr. Akira Ikenouchi, Director of the Panasonic Center Tokyo. The Fellows had a tour to observe the facility on the Business Solutions floor, exhibitions about the Olympic & Paralympic Games and SDGs. They also visited AkeruE, a museum opened in April 2021 to foster children's creative learning experiences through seeing, making, and communicating. The Mansfield Fellows enthusiastically listened to the company's endeavors to realize a society where people and their lives are enriched by mobilizing cutting-edge technology, switching to renewable energy-derived electricity, and utilizing clean energy. They also found interesting exhibitions that showed the company's contributions to the Olympics and Paralympics, and its efforts to promote SDGs and STEAM education. Since each Fellow has various specialized fields such as utilization of energy resources and utilization of science and technology in education, they spent meaningful time hearing about relevant efforts for social contribution that incorporate Japan's advanced technology.



At Panasonic Center Tokyo with Mr. Nakamura (left) and Mr. Ikenouchi (right)



First Kumamoto University–Mansfield Foundation Joint Lecture by Mansfield Fellow Held

The first in a 3-part joint lecture series between [Kumamoto University](#) and the [Mansfield Foundation](#) was held

virtually on December 1. In this lecture, MFP 25 Fellow Ms. Marla Borkson (Tax Attorney at the U.S. IRS Office of Chief Counsel, U.S. Department of Treasury), explained to students and faculty members of Kumamoto University about the U.S. tax system. To help the students understand the complicated U.S. tax system in an easier manner, she included a video and a quiz in her presentation. Students asked questions about the differences between federal and state taxes, reasons for different tax systems between states, and the difference between income tax and payroll tax, providing the Japanese university students an opportunity to learn about the U.S. social system through the U.S. tax system.



25th Mansfield Fellow, Ms. Marla Borkson (above), Students and faculty members of Kumamoto University (left below)



Other Fellows' s Activities with Photos

[Program details](#)

[List of Host Agencies](#)

Craig Elliott

(Trade Policy Officer, Asian Pacific Division, Trade Policy and Geographic Affairs Foreign Agricultural Service, U.S. Department of Agriculture)

Host Agency: Export and International Affairs Bureau, Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries (October)



Meeting with Mr. Shigeru Nakanishi, Mayor of Kanoya City
(Kagoshima prefecture)



With the mascot character of Kanoya City/ Fishermen's
Cooperative Association, Kanoya Kanpachiro (Kanpachi is a
greater yellowtail)

Other Mansfield Foundation-Related News

Third Webinar for the 26th Mansfield Fellows with Paige Cottingham-Streater and David Boling

On November 8, the D.C. Headquarters of the Mansfield Foundation held a webinar for the 26th Mansfield Fellows (who will come to Japan in the summer 2022). This webinar, the third involving the 26th class of Mansfield Fellows, featured Ms. Paige Cottingham-Streater, Executive Director of the [Japan-U.S. Friendship Commission \(JUSFC\)](#), and Mr. David Boling, Deputy Assistant of the U.S. Trade Representative (USTR) for Japan, as guest speakers. Both speakers have previously served as Vice President of the Mansfield Foundation, and Mr. Boling was a member of the 5th class of Mansfield Fellows. Using this experience, they gave the Fellows useful advice and practical knowledge in preparation for their work within Japanese administrative offices.

CFM Event: A Virtual Conversation with Ambassador Kurt Tong

On November 11, the Mansfield Foundation held a virtual event for the [Corporate Friends of Mansfield \(CFM\)](#), inviting [Ambassador Kurt Tong](#), a member of the Mansfield Foundation board of directors. Ambassador Tong served as Ambassador for Asia-Pacific Economic Cooperation (APEC) in 2011 and is currently a partner and member of the Executive Committee at The Asia Group, where he leads the firm's work in Japan and Hong Kong, and on East Asia regional policy matters. His experience in U.S.-Asia economic relations also includes a posting as Consul General and Chief of Mission in Hong Kong. At the CFM event, he talked about the business impacts of recent restrictions placed on Hong Kong's democratic structure. He discussed on how issues like Hong Kong's National Security Law affect international business interests in both Hong Kong and in the greater U.S.-China relationship.

Mansfield Foundation–Related Media Coverage

Professor Gerald Curtis of Columbia University Contributes to Japan Political Pulse, Sasakawa USA

[Professor Gerald Curtis](#), Burgess Professor Emeritus of Political Science at Columbia University and Chair of the Foundation's Board of Directors, contributed an article to an e-journal, [Japan Political Pulse](#), of [Sasakawa USA](#).

[Mr. Kishida Goes to Washington: The Right Way and the Wrong Way](#) (November 10, 2021)

Position Announcement

Mansfield Foundation Tokyo Office: Program Manager

The Maureen and Mike Mansfield Foundation seeks a Program Manager for the organization's Tokyo office. The application deadline is December 15, 2021. Please see [here](#) for details. We would appreciate it if you could pass the information to those who might be interested in this position.

Upcoming Events

The 1st GRIPS–Mansfield Foundation Joint Seminar (Online) to be Held on Friday, December 17 (12:10–1:40pm/JT)

[The National Graduate Institute for Policy Studies \(GRIPS\)](#) and the [Maureen and Mike Mansfield Foundation](#) will hold the 1st Joint Seminar virtually at 12:10–13:40 (JST) on Friday, December 17. In this seminar, Ms. **Marla Borkson** (Tax Attorney at the U.S. IRS Office of Chief Counsel, U.S. Department of Treasury), a member of the current 25th Class of Mansfield Fellows, will talk about “**U.S. Tax Law: Insights on How to Understand U.S Tax Law and Decipher the U.S. Internal Revenue Code**”. If you would like to join the seminar, please register [here](#) by Wednesday, December 15. Please see [here \(PDF\)](#) for details.

18th Mansfield Fellow to Talk at Webinar Hosted by YCAPS on Tuesday, December 7 (8–9pm/JT, 6–7am/ET)

Dr. **Michael Bosack** (former Deputy Chief of Government Relations at Headquarters, U.S. Forces, Japan), a member of the 18th Class of Mansfield Fellows, has been invited to participate in a panel discussion on “**Indo-Pacific Policy Dialogue: Japan's Political Landscape and Domestic and Foreign Policy Prospects Under PM Kishida Fumio**”, which will be held on Tuesday, December 7 (20:00–21:00/JT or 6:00–7:00/ET), hosted by the [Yokosuka Council on Asia-Pacific Studies](#) (YCAPS), [Institute for Contemporary Asian Studies](#) (ICAS), and [Japan-US Military Program](#) (JUMP). To join, please register at the URL below. Please see [here](#) for further details (It will direct you to the website of YCAPS).

<https://zoom.us/meeting/register/tJlsc->

[ggrD4iG9S0ZMtYPIVmXx3HgaD14VOj?fbclid=IwAR06Fnfjb_vU0wBpfgFDiCJPoz2WZFCtMu-_zxWT2vYpRa7jT9zLSz8OAYk](https://zoom.us/j/9281234567?fbclid=IwAR06Fnfjb_vU0wBpfgFDiCJPoz2WZFCtMu-_zxWT2vYpRa7jT9zLSz8OAYk)

Introduction of Mansfield Fellows from the 26th Class (6)

This month, the Mansfield Foundation Tokyo Office introduces Ms. Grace Park and Mr. Jeremy Potter from the 26th class of the [Mansfield Fellowship Program](#), who are scheduled to start the fellowship program in summer 2022.

Grace Y. Park, MFP 26 (2022–2023)

Special Agent, Office of Special Investigations, Department of the Air Force



One of the highlights of being a Special Agent with the Department of the Air Force Office of Special Investigations (OSI) is the opportunity to interact with people and offices of myriad backgrounds far and wide, in various contexts. The longer I work in this career field, the more I realize how integral cross-functional discourse and collaboration are to devising the most effective solutions.

By virtue of its versatility in role and function, OSI has the ability and need to work with various military and civilian partners. Partner engagement and cooperation are foundational to OSI's mission to "identify, exploit, and neutralize...threats in multiple domains to the Department of the Air Force, the Department of Defense, and the United States Government." From jointly combating child predation to countering force protection threats and hostile actors targeting national security, international partners are crucial in this line of work at the tactical, operational, and strategic levels.

Presently, as an Action Officer at OSI's regional headquarters in the Indo-Pacific, I see the extent to which strong international partnerships are critical to ensuring a free and open regional order and the U.S.' ability to effectively defend its allies and itself. It is becoming increasingly clear that in the current global security environment, effective threat and contingency deterrence and readiness necessitates collaborative efforts that may span an array of focus areas and domains. As a Mansfield Fellow, I hope to expand my understanding of mutual Japan-U.S. security concerns in order to identify areas and innovative ways to increase cooperation and interoperability.

Jeremy Potter, MFP 26 (2022–2023)

**Environmental Sciences Section Chief, Pacific Region Office, Bureau of Ocean Energy Management,
Department of the Interior**



About 24 years ago, I struggled to write a personal statement for my application to the Japanese Exchange Teaching (JET) Programme. At the time, I had relatively little interest in going to Japan. I applied primarily because I made a promise to a friend. I never expected that I would be accepted and actually go. If anyone said that I would live and work in rural Japan for three years and that it would be perhaps the most formative time in my life, I would have laughed. My current situation – both personally and professionally – is very different.

I first learned about the Mansfield Fellowship Program soon after I started my federal career. Since that moment, I had hoped to apply and to be fortunate enough to be accepted. My family and I were ecstatic when we heard the news last winter.

Professionally, there are multiple reasons to spend a year immersed in Japanese culture working with my Japanese colleagues and MFP cohort.. Deep sea minerals are an emerging issue for my home agency and the U.S. overall. Japan is far ahead of the United States in considering deep sea minerals as an important resource in supplying the country's basic demand for metals. In terms of energy, Japan is a global leader in the offshore wind sector and the country's research and development efforts have been a major driver of offshore wind technology. These are two of the programs under active discussion in my home agency, the Bureau of Ocean Energy Management (BOEM). Spending a year working with and learning from Japanese colleagues will greatly improve my ability to address BOEM Pacific Region management activities related to both offshore wind and critical minerals.

At BOEM, I lead the Pacific Region Environmental Science Section (ESS). ESS personnel prioritize, design, and manage environmental studies to better understand the potential environmental impacts of offshore energy and mineral development. BOEM uses the information from these studies to inform management decisions about development. Before coming to BOEM, I worked for more than a decade at the National Oceanic and Atmospheric Administration (NOAA) within Department of Commerce. Most of my NOAA career centered on organizing major deep sea science expeditions, including work in the Atlantic, Gulf of Mexico, Arctic, and Central and Western Pacific.

To date, there has been no substantive dialogue between my home agency and our Japanese counterparts. I realize that fostering meaningful bilateral dialogue and understanding will not happen overnight. I will be the first Mansfield fellow from BOEM and only the second from the Department of Interior. Phyllisina Vinson, MFP 25, is there now. We hope our fellowships serve as the beginning in what becomes a meaningful longer term and mutually beneficial relationship.

■ We send this newsletter to organizations/persons related to the Mansfield Foundation's programs, and:

• Those who provide us with personal information through meetings, business-card exchanges, interviews, and e-mail

correspondences with the Mansfield Foundation's staff

•Those who attended past events hosted or sponsored by the Mansfield Foundation

■We would like to use the personal information provided in the manners above when we send invitations of events hosted or sponsored by the Mansfield Foundation.

■Please contact the email address below to subscribe/unsubscribe or to change your personal information.

tokyoinfo@mansfieldfdn.org

[モーリーン・アンド・マイク・マンズフィールド財団 日本語ホームページ](#)



THE MAUREEN AND
MIKE MANSFIELD FOUNDATION

Connecting People and Ideas to Advance Mutual Interests in U.S.-Asia Relations

- [f Facebook](#)
- [t Twitter](#)
- [✉ Email](#)
- [🔗 Support](#)